

做スヲ得ヘシ

※縦隊長前衛本隊ノ先頭ニ在リテ本狀況ヲ目撃シタナラハ不取敢如何ナル處置ヲナスヘキヤ

- 一 前衛ヲシテ八代村ヲ占領シテ本隊ノ展開ヲ掩護セシム
- 二 本隊ヲ八代村ニ展開ス

前衛司令官ニハ支隊長自身ニテ其意圖ヲ授ク  
意圖ニ付キ一言ス

前衛ニハ早急ノ場合ニハ逆モ普通ノ如キ詳細ナル命令ヲ與ヘ居ル時間ノ餘裕ナキヲ常トス故ニ各別命令ノ要領ニ從ヒ縦隊長ハ本隊ヲ何レノ方面ニ展開シテ、、、、ノ如ク攻撃スル意圖ナリ云々ヲ示シテ前衛ニ任務ヲ與フルヲ通常トス前衛司令官ノ一舉一動ハ實ニ全軍ノ勝敗ニ關スルコト大ナルヲ以テ司令官モ亦其動作ヲナスニ其據ル所ナカルヘカラス勿論下級指揮官ノ動作ハ時々刻々變化スル狀況ニヨリテ支配セラレ又狀況ヲ支配スヘク動作スヘキモノニシテ一々上官ノ命令號令ヲ待テ而シテ後處置セントスルカ如キ

ハ迂モ亦甚シ孫子曰ク軍中ニ在リテハ王命モ聽カサルコトアリト此語少シク獨斷ニ過クルカ如シト雖モ其精神ニ至リテハ今日ノ獨斷專行ノ精神ト一致ス

去レトモ下級者ハ上官ノ大方針ヲ知リテ諸種ノ狀況ニ應シ之ニ適スル如ク動作スルコト肝要ナリ又上官トシテモ統一シテ軍隊ヲ指揮スルノカ原則ヲアルカラシテ出來得ル限り自己ノ意圖ヲ部下ニ示シ之ニ適合スル如ク動作セシムルヲ可トス

故ニ上官ハ統一的戰鬪ヲ指導センカタメニ意圖ヲ部下ニ示シ下級者ハ獨斷專行ヲ適當ニセンカタメニ可成上官ノ意圖ヲ知ルコトニ努メ以テ上下一致シテ其成功ヲ期スヘキテアル

上官ノ意圖ニ反スル獨斷專行ハ真ノ獨斷專行ニアラス操典ノ綱領ニモ服從ナキ獨斷專行ハ似而非ナリト以テ可味

※縦隊長ハ本隊ノ展開ニ關シ大要如何ニ處置スヘキヤ

- 一 本隊ノ先頭ニアル聯隊長ヲシテ其第二、第三大隊ヲ以テ北八代西端ニ展

開シ直ニ敵ヲ攻撃セシム

二 砲兵隊長ニ意圖ヲ示シテ陣地ヲ占領セシメ直ニ射撃ヲ開始セシム

三 歩兵第二聯隊第一大隊、機關銃隊ハ南八代ニ向ヒ前進セシム

此處置即チ展開ノ指導ニ關スル著眼點ハ

一 先ツ八代村西端ニ展開セシメ然後攻撃前進ヲ命スルカ

二 展開ヲ命スルト同時ニ攻撃スヘキコトヲモ命スルカ

ニアリ是レニ付一言セン

遭遇戰ハ機先ヲ爭フ戰鬪ナレトモ統一戰法テアルコトハ當然テアル統一的指導ヲナスモノトセハ先ツ展開セシメ其展開終リタル所ニテ一齊ニ攻撃前進ヲ命スルノカ至當テアル然レトモ吾人ハ統一々々トテ唯々形ノ統一ニノミニ拘泥シテハナラヌ要ハ前述ノ如ク先制ノ利ヲ獲得スルニアリ先制ノ利ヲ占ムルニハ敵ニ先チ展開ヲ完了スルニアリ去リナカラ展開完了計リカ能事ニアラス要ハ展開センカタメニ展開スルニアラス敵ニ先シテ攻撃ヲ實行センカタメニ展開スルノテアル

若シ夫レ唯々展開ノ早キコトノミヲ尙フナラハ後方ニ展開シ以テ敵ノ前進ヲ待テ攻勢ニ轉スルヲ最良ノ法トセン斯ク論スルトキハ其極言ハ攻勢防禦ハ戰鬪ノ最良法ト云フコトトナルヘシ

元來遭遇戰ナルモノハ其精神的ニ於テ最モ活潑猛烈ナル攻撃動作ナリ

故ニ展開完了セサレハ攻撃前進スヘキモノニアラスト思惟スルモノアラハ

其考ハ大ナル誤解ナリト謂フヘシ

唯敵ノ我ヨリ先シタル場合ニアリテハ操典ニアル如ク充分ナル兵力ヲ展開シ得ル迄眞面目ノ戰ヲ避クヘキナリ

此精神ヨリ考フルモ其反面ニ彼我同等ノ場合ニアリテハ縱ヒ充分ノ兵力ヲ展開スルニ至ラスト雖モ攻撃前進ヲナスヘキモノト解セラル然ラハ其十分ノ兵力トハ如何夫レハ其狀況ニ對スル指揮官ノ感覺ニ關スルモノニシテ標準ヲ爰ニ示スコト困難ナリ是レニ指揮官ノ明斷ニ待タサルヘカラス故ニ遭遇戰ニアリテハ特ニ指揮官ノ決斷力ヲ要スル所以即チ爰ニ存ス逡巡躊躇右顧左盼ハ事ヲ誤マルノ基ナリ

ナポレオンハ終始寡兵ヲ以テ大軍ヲ破レリ、其原因或ハ戰略的才能ノ卓絶ナリシニヨルヘケレトモ主トシテ決心ノ迅速實行ノ快迅ニシテ常ニ敵ノ意表ニ出テタルニヨル、戰勝ノ要訣ハ人(敵)ノ意表ニ出ツルニアリト謂フ是レ一面ノ真理ナリ況ンヤ遭遇戰ニアリテハ互ニ其兵力不明ナリ故ニ猛烈ニ先ノ先ヲ制スルモノハ第一步ニ於テ勝機ヲ握リ以テ全局ノ勝利ヲ獲得スルモノナリ

人アリ若シ如此セハ指揮ノ統一ヲ害スルナラント言ハンモ开ハ一ヲ知リテ未タ二ヲ知ラサルモノナリ如何ニ第一ノ隊ヨリ逐次ニ展開直ニ攻撃前進シタレハトテ其一ト度火戰ヲ開クヤ無人ノ境ヲ行クカ如キモノニアラス忽チニシテ後續隊カ戰場ニ到着シテ所謂同一ノ動作即チ戰鬪加入スルニ至ルヘキハ實際ノ狀態ナルヘキヲ以テ事實統一ヲ害スルノ恐レナシ

舊操典草案ニハ先ツ展開シ然ル後攻撃前進云々ノ意味ノ條項アリシモ現今ノ操典ニハ如此コトアラス故ニ先ツ展開シ後前進ノ時機ヲ示スカ如キハ其精神ニアラスト信ス

然レトモ此事ニツキ誤解スヘカラス左ノ例ニヨリ其精神ノアル處ヲ會得スヘシ

師團長ナラハ

直ニ攻撃命令ヲ示セハ可ナリ則チ展開シテ敵ヲ攻撃スヘシト命セハ可ナレトモ此筆法ヲ下級指揮官ニ迄通用セントスルハ時ト場合トニ依リ不可ナルコトアリ則チ本狀況ニ於テ

前衛司令官カ直ニ前兵ニ攻撃前進ヲ命スルカ如キハ不可ナリ

此等ハ先ツ宜シク統一ヲ圖リ前兵ニハ先ツ展開シテ前衛本隊ノ展開ヲ掩護セシメ全隊略展開完了スル頃ニ至リ始メテ前進ヲ命スルヲ至當トセン

本隊ノ先頭ニアル第一聯隊ノ主力ハ分進セリ

分進ニツキ一言ス

世人カ遭遇戰ハ唯夫レ展開ヲ早クスル々々々ト謂フコトノミニ著眼スルカ如シ勿論戰鬪準備ノ第一歩タル展開ヲ早クスルト謂フコトハ當然必要テアルカ扱此分進ナルモノカ單ニ展開ヲ早カラシムルノミトスレハ夫レ迄ノ

事タカ、分進スルト謂フ精神ハ尙一步ヲ進メテ攻撃ヲ早クスルト謂フ著眼テアラネハナラヌ

## 第二 前衛ノ動作

高家西北三三二、七ニ到リ

※尖兵長此地點ニ到ル此時敵ハ富士見村字今井附近ニ進入シタルモノノ如シ

尖兵長ノ取敢ヘスノ行進目標如何

南八代村西端トス

元來尖兵ハ

- 一 機敏ニ敵情地形ヲ視察セサルヘカラス
- 二 必要ニ際シテハ抵抗力アル地點ヲ占領セサルヘカラス

此二點ニ著意スルヲ要ス南八代西端ハ此要求ニ適ス則チ偵察ニモ戰闘ニモ有利ナレハナリ故ニ此際尖兵長トシテハ唯々早ク南八代西端ニ出テネハナラメト謂フ一觀念ニ支配セラルルノミニシテ斥候ヲ如何ニ出スヘキヤ連絡

ヲ如何ニスヘキヤ等ノ處置ハ目下ノ處尖兵長ノ値ヲ定ムル主要ナル條件ニアラス

尖兵ハ如此目的ヲ以テ駟步前進ス

※前兵長此地ニ到ル此時敵兵續々今井村ニ進入シテ步兵約一小隊油川附近

ヲ渡河中ナリ前兵長トシテナスヘキコトアリヤ

永井村ニ一分隊ヲ出シテ之ヲ占領セシム

永井村ヲ尖兵ヲシテ占領セシメントスルモ道路地形ノ關係不自然ナルヲ以

テ今ノ位置ヨリ直線的ニ永井村ニ派遣スルヲ至當トス

※前衛司令官ハ目下何レニ在リテ前進中ナルヤ

前兵ノ先頭ニ在リテ前進中ナリ

前衛ノ行動處置ヲ律センカタメニハ可成前方ニアルヲ要ス併シ目下ノ所敵情地形ノ概要ハ之ヲ觀察シ得タルヲ以テ前衛司令官トシテ主トシテ考フヘキコトハ早ク南八代西端ニ到リ此處ニテ前兵ニ直ニ意圖ヲ授ケ且ツ前衛本隊ノ逐次到着次第之ヲ區處スルタケノ餘裕ヲ存シ置クヲ必要トス之カタメ

ニハ前兵ノ先頭ニアルヲ可トス  
 ※前衛本隊今ヤ此地點ニ到ル如何ナル隊形ヲ以テ行進シツツアリヤ  
 行軍縱隊トス  
 此時ニ於ケル著眼點ハ

- 一 戰鬪的隊形ヲ取ルヘキヤ
- 二 行軍的隊形ヲ取ルヘキヤ

ニアリ之ヲ決スルニハ先ツ前衛ノ目的ヲ一考セサルヘカラス前衛ハ成ルヘク早ク南八代西端ニ出ツルヲ要ス、此「早ク」ナル要求ニ適センニハ行進ニ便ナル隊形ヲ適當トス況ンヤ目下敵砲彈ノ害ヲ受クル恐モナク又路外ハ桑畑等ニテ運動困難ナルニ於テオヤ是レ行軍隊形ヲ以テスルヲ可トスル所以ナリ  
 ※砲兵隊長ハ今朝出發後砲兵本來ノ任務ヲ達センカタメ如何ナル處置ヲ取リタリシヤ

砲兵斥候ヲ前遣ス此斥候ハ前兵ト共ニ前進シテ高家村ニ到リ前述ノ敵情ヲ目撃シタナラハ先ツ狀況ノ發展ヲ判斷シテ砲兵陣地ノ偵察ヲナスナラン

※斥候ノ選定スル砲兵陣地ハ

第一 岡村北端

第二 南八代西端

選定上ノ著眼ハ陣地ニ具備スヘキ性能上ヨリモ狀況ニ適セシムルヲ主トセ



サルヘカラス、南八代西端ハ性能上ヨリ論スルトキハ良好ナレトモ狀況上之ヲ許スヤ否ヤ將タ適當ナルヤ否ヤハ疑問ナリ、故ニ此際二箇所ヲ偵察シ置クヲ肝要トス、岡村ニ一箇所之ハ到底南八代西端マテ進出ヲ許ササル場合ノ陣地、一ハ南八代西端ニ一箇所之ハ此地點マテ進出シ得ル場合ノタメノ陣地ナリ、若シ然ラスシテ漫然唯陣地ニ具備スヘキ性能ノミヲ標準トシテ偵察スルモ値ナキモノナリ

砲兵中隊長ハ縱隊長ノ意圖ニ基キ斥候ノ報告ノ如

ク先ツ岡村北端ニ陣地ヲ占領セントス

※此際砲兵中隊ハ如何ナル姿勢ニ在リテ行進シツツアリヤ  
馱載シテ行進ス

是レ中隊長ハ我縦隊ノ進路ハ山地ナルニヨリ其行進難ヲ顧慮シテ馱載トナ  
セリ道路之ヲ許セハ繫駕ヲナスヲ有利トス是レ放列ヲ布クニ迅速ナレハナ  
リ

而シテ馱載ヨリ繫駕スルトキハ約五分時ヲ要ス故ニ馱載ノ姿勢ヨリ放列ヲ  
布クトキハ敵ノ目視ヲ避クルタメ遮蔽物ノ後方ニ於テ繫駕シ然ル後放列陣  
地ニ進入スルヲ可トス

砲兵中隊ハ今ヤ繫駕ヲナシ陣地ニ進入セントス此時敵歩兵ノ先頭ハ字今井ニ  
進入シ又其一部ハ油川附近ヲ渡河中ナリ前面ノ地形目撃スルカ如シ

※敵砲兵陣地判斷

下増坪東方左岸堤防附近ナラン

前衛ハ今ヤ南八代西端ニ第一聯隊ノ主力ハ北八代西端ニ向ヒ前進中ニシテ敵

ハ小石和ノ堤防ノ線ニ是亦續々展開中ナリ歩兵ノ小戦闘處々ニ起ル  
第二聯隊第一大隊ハ高家村ヨリ南八代ニ向ヒ前進中ナリ

※其隊形如何

大隊縦隊ナリ

此時ニ於ケル著眼點ハ行軍隊形ヲ取ルヤ密集隊形ヲ取ルヤニアリ前研究ノ  
前衛ノトキニアリテハ迅速ニ南八代西端ニ進ムノ必要上ヨリシテ行進ニ容  
易ナル隊形ヲ取リタルモ今ヤ第一線ハ戦闘ノ初期ニアリ故ニ此際ハ戰鬥的  
考慮ノ下ニ隊形ヲ選擇セサルヘカラス則チ行進間大隊縦隊ヲ取リ本道ヲ基  
準トシテ堂々前進ス又一方ヨリ論スルモ此大隊ハ展開ノ狀況上始メハ豫備  
隊タルヘキヲ以テ急テ第一線ニ増加セネハナラヌ要求モナケレハナリ又戰  
闘加入スルモノトスルモ戰鬥隊形ヲ取ルニ便ナル密集隊ヲ取リアルヲ適當  
トス

南八代西端ニ到リ

尖兵長駈歩ヲ以テ此地點ニ到ル此時敵歩兵約一小隊字小石和堤防ニ進入シ其

後方ニ縱隊アリテ村落ヲ縫フテ前進中ナリ、又宇砂原ニモ敵小部隊アリ其後方ニハ特ニ大部隊ヲ見サレトモ宇上村西方ニ方リ乘馬車輛ノ絡繹タルヲ見ル

三九二

※尖兵長ノ處置如何

南八代西端ニ蔭蔽シテ横隊ニ停止シ敵情ノ視察ニカム  
處置ノ著眼ハ南八代西端ニ止マルカ、大間田、増田ニ進出スルカニアリ一般ノ狀況上縱隊ハ南八代西端ニ展開スヘシ故ニ此際尖兵長獨リ大間田ニ突進スルトキハ動モスレハ敵ノ部隊ト衝突シ所謂前進部隊ノ害ヲ惹起スル憂アリ然レトモ大間田ニハ斥候ヲ出スヲ要ス

※前衛司令官急イテ此地點ニ到ル敵情目撃スルカ如シ今ヨリ如何ニ處置セントスルヤ

- 一 前衛ヲ展開ス
  - 二 敵情、地形ヲ偵察ス
  - 三 砲兵中隊ト連絡ス
- 前衛ハ此際先ツ展開シ然ル後統一シテ攻撃前進スルヲ可トス

前兵ニ攻撃前進ヲ命シ前衛ノ主力ヲ逐次ニ其右左ニ増加スルカ如キハ本狀況ニ於テ取ルヘキ戰法ニアラス

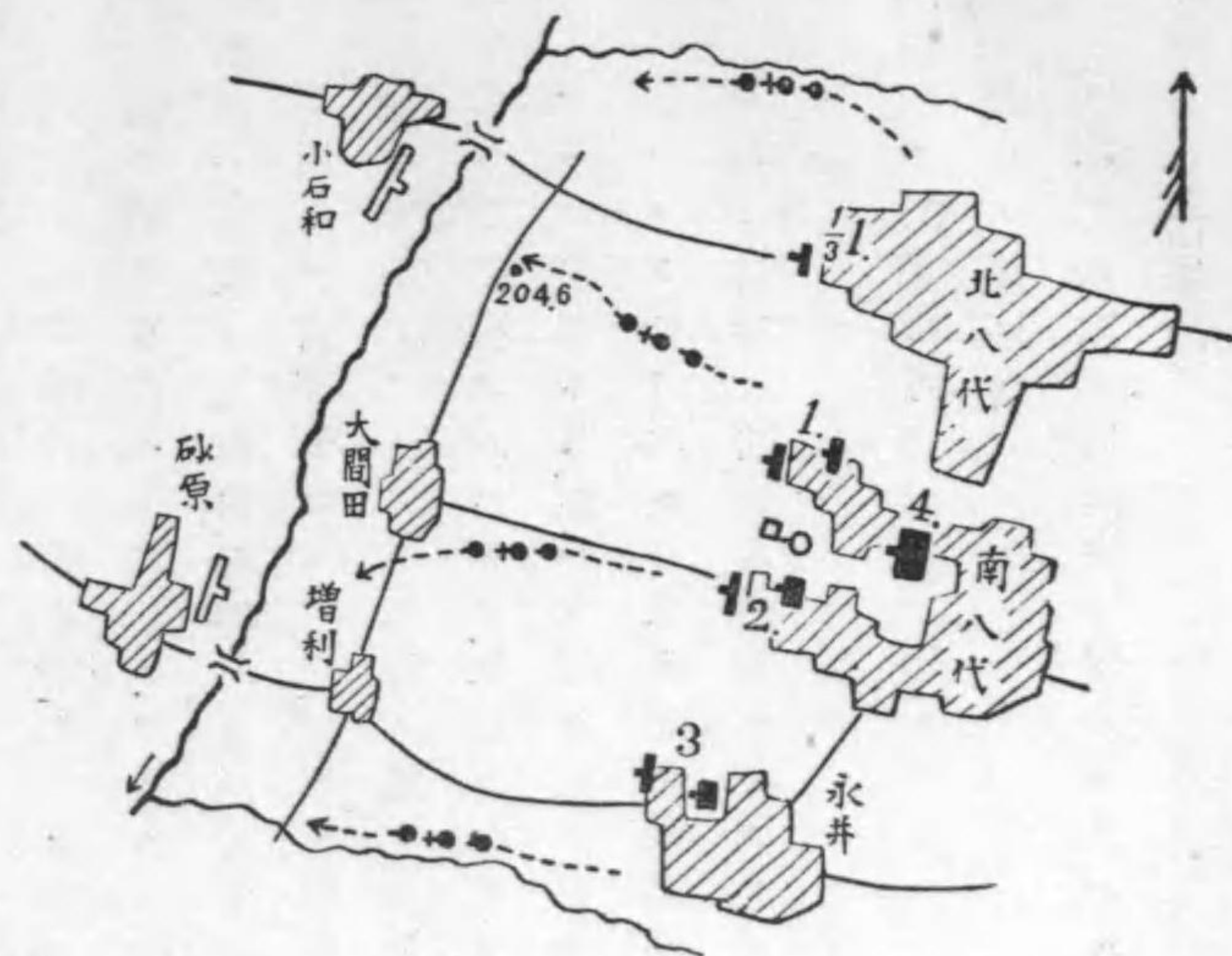
※前衛ハ何故ニ大間田、増坪ヲ占領セサルヤ

占領セハ前衛孤立トナリ、河川ノ關係上包圍セラレ而シテ縱隊全體ヨリシテ統一ヲ缺クノ恐アリ此時ニ於ケル著眼ハ之ヲ占領スルノ利ト占領セサルノ害トヲ比較スルニアリ、取レハ孤立ノ害アリ取ラサルモ害ナシトセハ無論取ラサルヲ可トス、然レトモ如此コトハ狀況ニ關スルモノニシテ時ニハ與ヘテ奪フコトモアルヘシ又孤立ヲモ厭ハス之ヲ占領スルノ利ナルコトモアルヘシ一ニ其時ノ狀況ニ關スルモノナリ但シ本狀況ニアリテハ取ラサルヲ良トス

※前衛ノ配備如何

配備ノ著眼點ハ

- 一 縱隊ノ展開未タ了ハラサルニ先チ敵ノ攻撃ヲ受ケテモ差支ナキ様ニ
- (消極的)



※前衛司令官ノ敵情地形偵察計畫

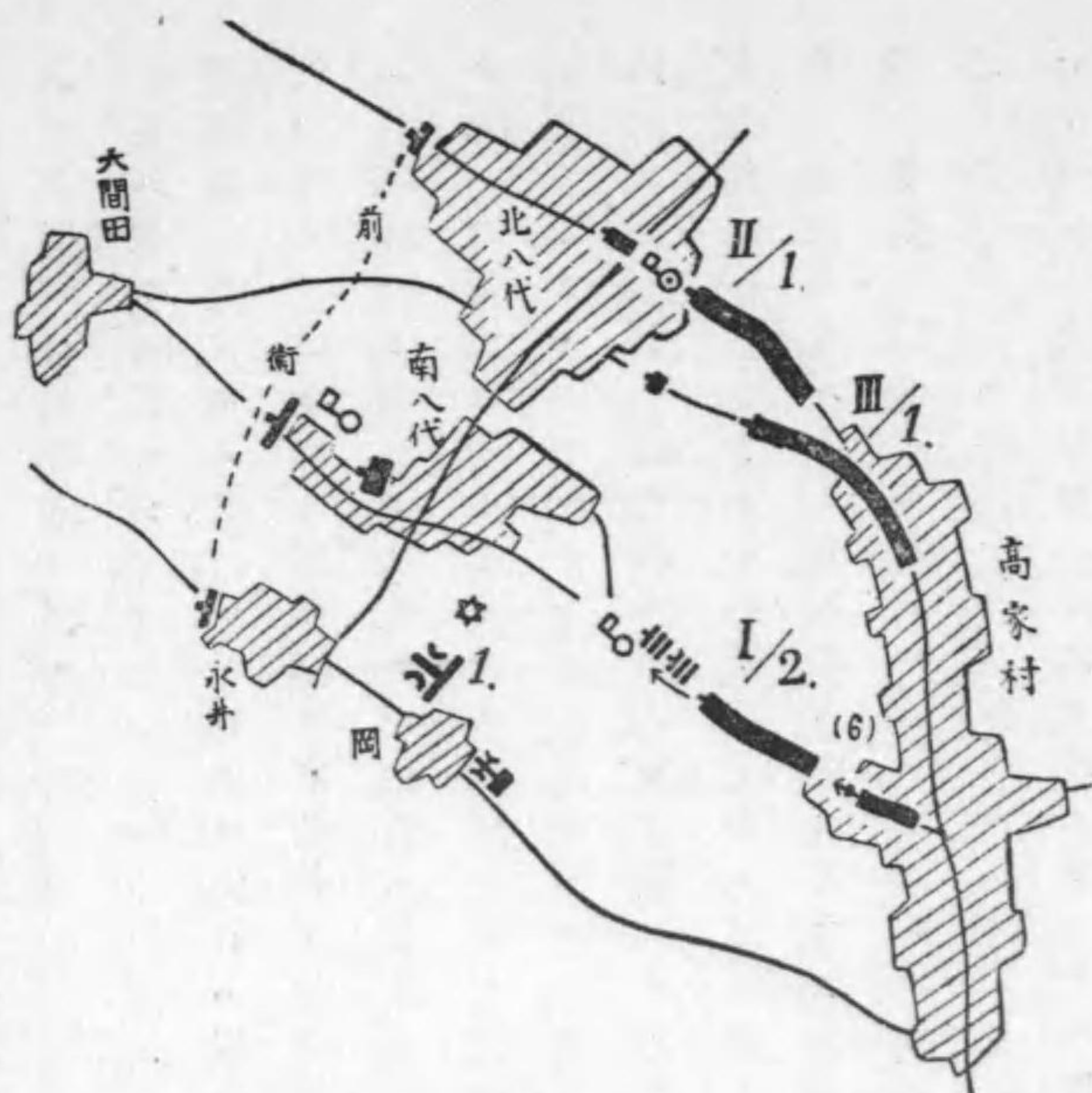
三九四

二 間モナク攻撃前進スヘキヲ以テ之ニ適スル様ニ(積極的)

一 ノタメニハ正面稍廣クナルモ要點々々ヲ占領スルコト之カタメ北八代西端及永井村ヲ占領ス

二 ノタメニハ今ヨリ適當ニ第一線ト豫備隊トヲ區分シ置キ攻撃前進ニ方リ其儘ノ部署ヲ以テスルヲ得セシムルコト之カタメ三中隊ヲ第一線トシ豫備中隊ハ何レノ方面ニモ進出シ得ルニ便ナル如ク位置ス

中隊ハ第一線ニ一小隊ヲ散開シ置キ二小队ノ援隊ヲ控置ス



第三 本隊ノ展開

※午前九時三十分頃前衛ハ大凡以上ノ如キ状態ニアルヘシ此時ニ於ケル左縦隊本隊ノ行進一般ノ状態ハ如何ナル關係ニアルヘキヤ

上圖ノ如シ  
此問題ニ對シテ遭遇ヲ



豫期シテ前進スルトキノ軍隊區分ハ如何及展開スル際ニ於ケル軍隊ノ工程即チ歩度ニツキ考慮ヲ要ス  
歩度ニ就キ一言セン

遭遇戰ハ急クモノテアルケレトモ夫レハ指導上處置ヲナス上ニ於テ急クヘキコトニシテ軍隊ニ駈歩ヲ要求シテ急ク様テハ抑モ事ノ末テアル軍隊ニハ行軍速度ト謂フモノカ夫レ相當ニ要求セラレアルモノテアル若シ駈歩ナルモノヲ要求スルトキハ大ニ軍隊ノ力ヲ減殺シ且ツ混亂ヲ來スノ恐アリ駈歩ヲ要求セスシテ、チャント其準備カ出來上ラナケレハナラヌ夫ノ駈歩ヲ以テスルハ則チ其指導指揮ノ缺ヲ補フモノナリ但シ小部隊ニアリテハ勿論短距離ノ駈歩ヲナスモ敢テ差支ナシ又軍隊ノ方面ヨリ觀ルトキハ如何ニ駈歩ヲ要求セラルルモ之ニ堪ヘ克ツノ力ヲ有セサルヘカラス  
予ハ絶對ニ駈歩ヲ否認スルニアラス然レトモ駈歩ナルモノハ遭遇戰ノトキ必ス之ヲ用フヘキモノト思惟スルハ不可ナリ則チ遭遇戰ニ於テハ駈歩ナルモノニヨリテ其展開ノ成功ヲ收メンヨリモ指揮ノ巧妙ニヨリテ其成果ヲ期

シタイト思フ

午前九時四十分敵ハ續々笛吹川右岸堤防ニ展開シテ小石和附近ニハ約二中隊砂原方面ニ約一中隊而シテ河内附近ヨリ小石和南方堤防ニ向ヒ密集部隊ノ前進スルヲ見ル尙下増坪東方堤防左岸ニ敵砲兵ヲシキモノ出現ス

※砲兵中隊ノ射撃目標ノ選定如何

展開中ノ敵歩兵ニ向ヒ主トシテ射撃ス  
遭遇戰ニ於ケル砲兵ノ主任務ハ若シ之ヲ分解スレハ  
先ッ我展開ヲ助ケヨ  
次ニ攻撃前進ヲ助ケヨ  
次ニ突撃ヲ助ケヨ

ト謂フ著眼ノ下ニ其任務ヲ達成セサルヘカラス而シテ我展開ヲ助クルニハ先ッ我展開ヲ妨クル敵ヲ撲滅セサルヘカラス而シテ又敵ノ展開ヲ妨ケサルヘカラス今ヤ我歩兵ノ展開ヲ妨クル敵ハナシ故ニ敵ノ展開ヲ妨クルコトヲ努メサルヘカラス勿論敵砲兵ハ早晚我ニ射撃ヲ向クルナランモ目下ハ夫レ

ヨリモ直接ニ展開スル敵ヲ目標トスルヲ有利トス

### 第四 攻撃ノ實行

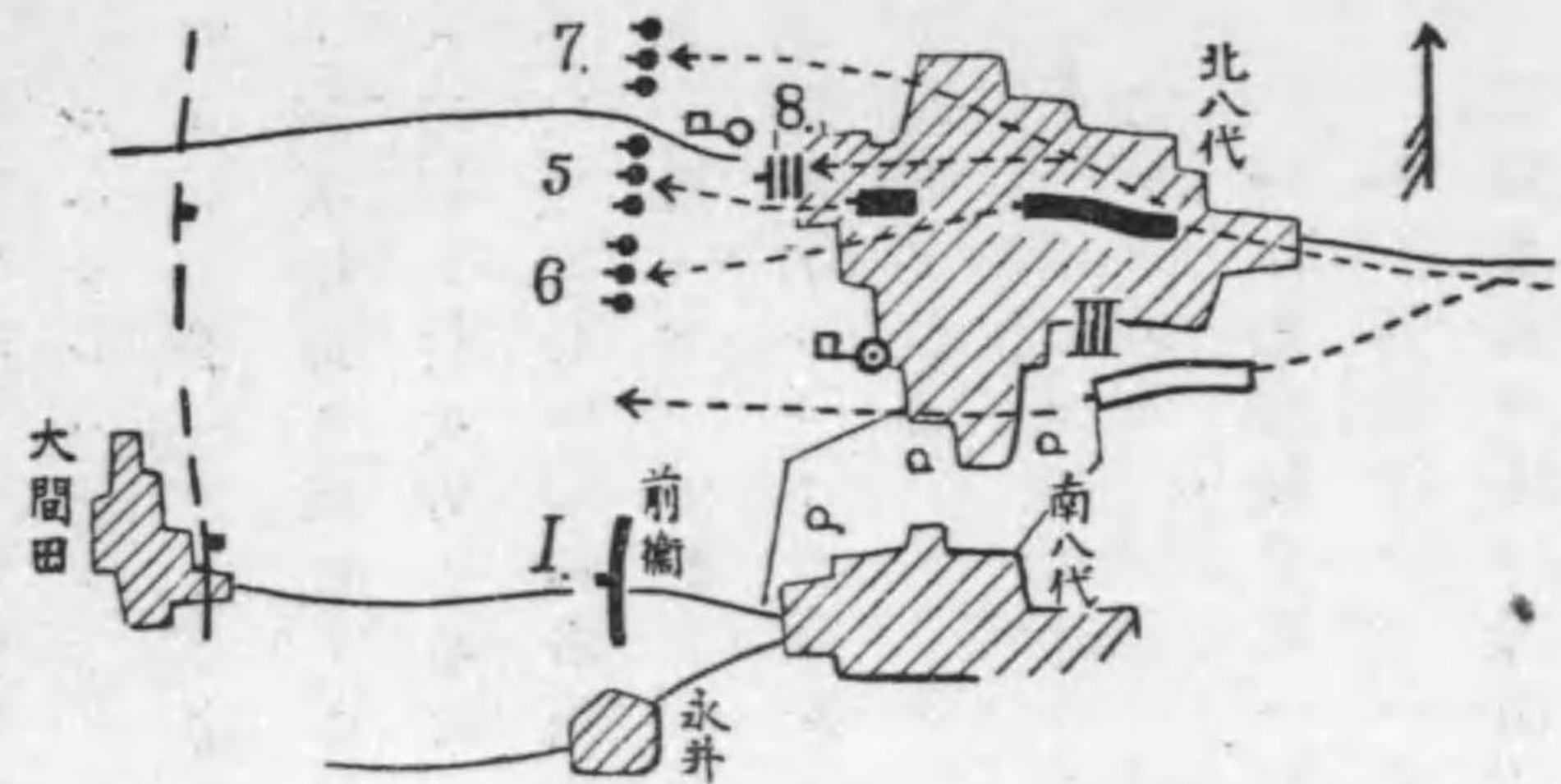
※午前九時四十分頃敵情前陳ノ如ク而シテ第二大隊ノ一部北八代ニ現ハル  
前衛司令官ノ處置如何

直ニ攻撃前進ヲ起ス

此時ニ於ケル著眼點ハ直ニ攻撃前進スルカ若クハ第二大隊ノ全部即チ縱隊  
ノ展開了ハルマテ猶豫スルカニアリ

今ヤ敵ノ展開ハ我ヨリ一步後レタルヤノ感アリ而シテ左翼ニ第二大隊ノ一  
部展開シタルヲ以テ是以上友軍展開ノ完了ヲ待ツヘキニアラス直ニ前進シ  
テ敵ニ對シ精神的機先ヲ制セサルヘカラス斯ク前進シタカラトテ決シテ我  
軍ノ統一ヲ缺キタルモノニアラス此狀況ニ於ケル此處置ハ寧ロ遭遇戰展開  
ノ常態ナルヘシ

北八代西端ニ到リ



第二大隊ハ北八代西端ニ展開シテ攻撃スヘキコ  
トヲ命セラレ今ヤ其尖兵ヲ以テ此地點ニ到ル此  
時ニ於ケル前面ノ狀況前述ノ如ク而シテ前衛ハ  
其前進中ニアリ

※第二大隊ノ長處置

行進シツツ展開ヲ行ヒ續テ前進ス  
則チ第五中隊ハ本道ヲ右翼トシテ展開、第六中  
隊其左ニ、第七中隊ハ其右ニ展開、第八中  
隊ハ豫備隊トナリ第五中隊ノ後方前進  
行進間ナル故ニ各箇ニ命令スルヲ至當トス先  
頭中隊ハ普通ノ歩度、左右ヘノ中隊ハ駈歩ヲ以  
テ其線ニ到ル此際左右ヘ出ツル中隊ノタメ基  
準中隊タル第五中隊ヨリ幾何米ノ間隔ヲ取ル  
ヘキコト又ハ展開區域杯ヲ示ス必要ナシ何ン

トナレハ後方中隊ノ展開スル比ハ先頭中隊ハ散開シテ其正面自然定マリアルヘケレハナリ

四〇〇

既ニシテ第一、第二大隊永井村ノ線ニ到リ大間田ノ線ニアル敵ト戦闘中ナリ敵ハ漸次増加ノ模様ナリ於是聯隊長ハ第三大隊ノ二中隊ヲ第二、第一大隊ノ中間ニ増加シ益々火力ノ増大ヲ圖レリ是ヨリシテ戦闘漸次激烈トナル  
此時旅團長ハ定林寺西方村端ニアリテ我師團ノ主力ハ英村、坪井ノ線ニ於テ石和ノ線ニアル優勢ナル敵ト戦闘中ナルモ攻撃戦闘意ノ如クナラス頗ル苦戦ノ状態ニアルコトヲ知ル

※旅團長ノ決心

猛烈ニ攻撃ヲ敢行シテ師團主力ノ戦勢ヲ有利ナラシメントス之カタメ

- 一 機關銃ヲ第一線ニ出ス
- 一 豫備隊ヲ第一線ニ増加ス

旅團當面ハ未タ豫備隊ヲ増加スル程ノ戦況ニアラサルモ師團本隊方面ノ戦

況ヲ有利ナラシメンカタメ一刻モ早ク當面ノ敵ヲ擊攘シテ敵本軍ノ側背ニ迫ルノ必要アリ故ニ驚ノ雀ニ對スル如ク獅ノ兎ヲ搏ツカ如クニ全力ヲ用ヒサルヘカラス

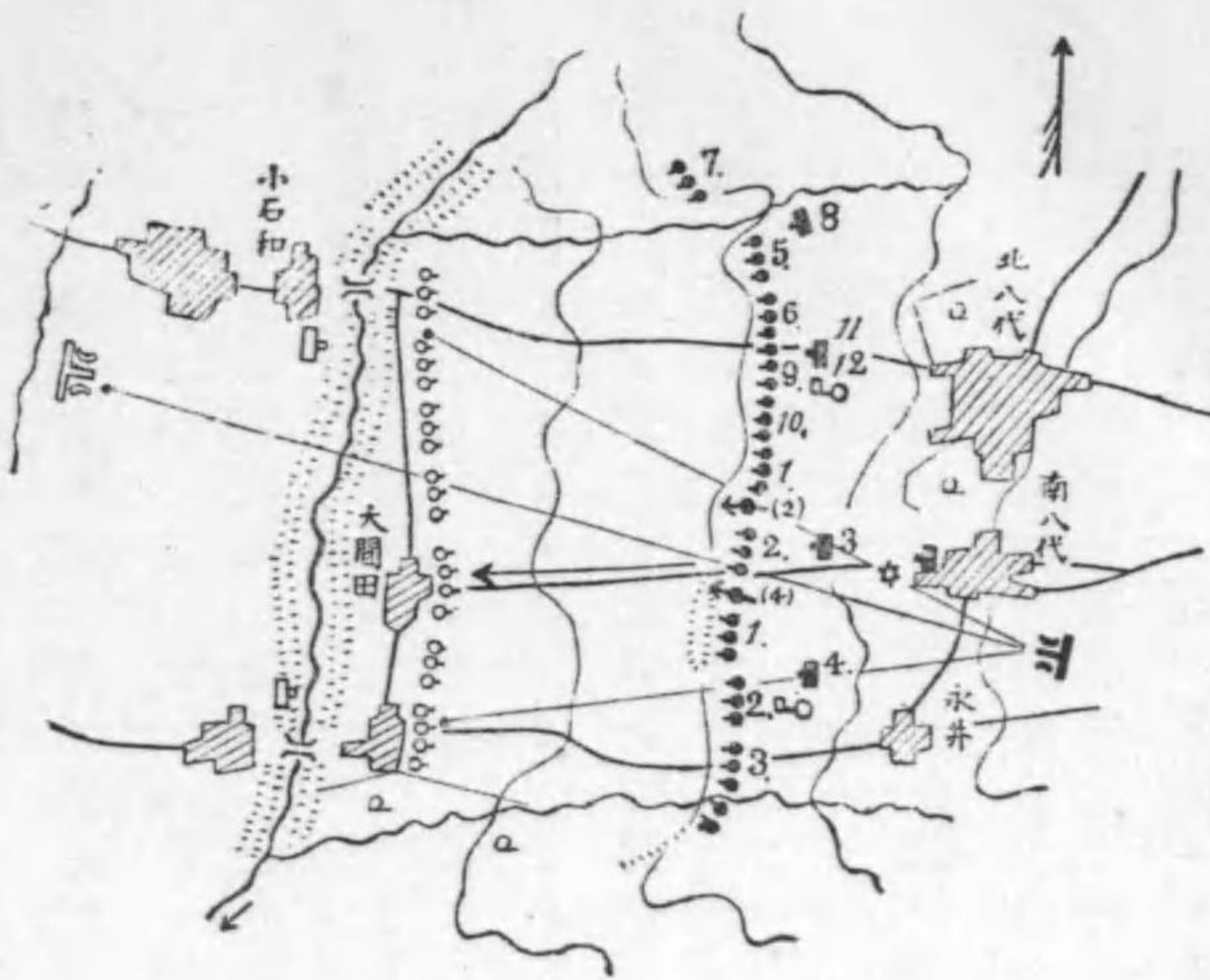
機關銃、豫備隊ハ戦線ニ加入シ今ヤ南八代西方五百米丘阜ノ線ニ到リ射撃ヲ開始シ其戦況漸次激烈トナル

※南八代西方五百米丘阜ノ線ニ於ケル縦隊展開状態如何

此問題ニツキ研究スヘキコトハ

- 一 豫備隊ヲ使用スル方面
- 二 機關銃陣地
- 三 攻撃點

其一 豫備隊ヲ注入スヘキ點ハ遭遇戦ニアリテハ通常包圍的ニ使用シ得ル時機少ナク多クハ正面ノ増加ニ過キス今ヤ戦線ノ左右ハ小川ノタメニ遮キラレテ側方ニ使用スルノ便ヲ有セス且師團本隊ノ戦況上攻撃ヲ急ク必要上正面ノ間隔内ニ増加スルヲ自然トス



其二 機關銃ハ此附近ニ於テハ地形特別有利ナルモノナキヲ以テ比較的瞰制ノ利ヲ有シ步兵ノ行動ヲ妨ケサル地點ニ於テ選マサルヘカラス而シテ地物ノ利用上必スシモ一陣地トナスコトナク適宜分割スルヲ有利セン

其三 攻撃點ハ大間田トス是レ此地點ハ敵線ノ樞軸ナレハナリ

戰鬪漸ク激烈ヲ極メ我攻撃ノ勢力優勝ヲ占メタルヨリ敵ノ勢力萎靡遂ニ退却スルニ至ル此時小石和堤防ニ敵ノ豫備隊ナラン約一、二中隊現ハレテ友軍ノ退却ヲ收容ス

我軍勝ニ乗シ大間田ノ敵ヲ一蹴シ收容隊ヲ突破シテ猛烈ナル追撃ヲ續行ス  
 ※旅團長ハ取敢ヘス何レノ線マテ追撃ヲ續行セントスルヤ

笛吹本流ノ右岸地區迄續行セントス  
 之カタメ砲兵ヲシテ猛烈ナル追撃射撃ヲ行ハシメタル後一部ハ追撃隊ニ隨伴シ大部ヲ以テ直ニ師團主力方面ノ敵ヲ側射セシム

此際旅團長トシテ考慮スヘキコトハ師團本隊方面ノ戰況ナリ之レカタメ猛烈ナル追撃ヲ敢行シテ敵ノ側背ヲ脅威スルニアリ然レトモ極端ナル冒險ヲ許サス即チ何レカニ於テ據點的地形ヲ占メ戰況ニ應スル如ク動作スルヲ要ス

笛吹本支流間ノ地形ハ活動地區ニ適セサルヲ以テ可成一舉其本流ノ西岸ノ高臺ニ取付キ此ニ於テ一方ニハ追撃ヲ勵行シ一方ニハ敵本軍ノ側背ニ迫マルヲ要ス此地點ハ若シ我ニシテ退却ノ必要アルモ會根方向ニ行動スルノ自由ヲ有スレハナリ

一言ス 一部ハ常ニ主力ノタメ犠牲的ニ活動スヘキモノタルコトヲ

遼陽會戰ニ於テ第一軍ノ一部カ太子河右岸ヨリ敵ノ側背ニ向テ決死的攻  
 撃ヲ試ミ以テ本軍ノ遼陽ノ正面攻撃ヲ容易ナラシメタル、奉天會戰ニ於テ  
 乃木軍、鴨軍カ敵ノ左右兩翼ニ向テ猪勇的突進ヲ試ミ以テ滿洲軍主力ノ奉  
 天正面攻撃ヲ容易ニシタル皆以テ然ラサルハナシ、凡テ本軍ヨリ支分セラ  
 レタル軍隊ハ常ニ本軍ノタメノ利害ヲ基礎トシテ動作スヘキモノテアル、  
 我斃ルルモ主勝タハ其我ノ斃レタルヤ値アリ、我勝ツモ主敗レンカ其我ノ  
 勝チタルヤ値ナシ、其評價ハ我ニアラスシテ主ニアリテ存ス、故ニ軍隊ニ長  
 タルモノ能ク本末ヲ誤ラサル如ク著眼スルヲ要ス夫ノ身ヲ殺シテ仁ヲ爲  
 スノ聖人ノ教亦以テ同一ノ真諦トシテ則ルヘキ哉



### 第十五 遭遇戰(逐次展開)

想 定

(石和、勝沼)

八王子方向ヨリ西進スル敵ヲ擊攘スヘキ任  
 務ヲ有スル西軍混成旅團ハ二縱隊トナリ甲  
 州街道及小石和—錦道ヲ前進中ナリ  
 旅團ノ兵力

歩兵第一旅團(四大隊内一大隊ハ右縦隊)

騎兵第一中隊

山砲兵第一大隊

工兵第一中隊

研究項目

一 騎兵ノ動作

- 二 前衛ノ動作
- 三 本隊ノ展開
- 四 攻撃實行

指導法

笛吹橋ニ於テ前衛騎兵ノ尖兵ノ動作ヲ研究シ次ニ坪井東端ニ到リ騎兵中隊ノ襲撃一  
 次ニ本都隊ニ到リ騎兵ノ徒歩戰並ニ歩兵前衛一本隊ノ展開ニ關スル研究ヲナシ最後  
 ニ同地ニ於テ攻撃實行ニ關シ現地講話ヲ行フ

研究

第一 騎兵ノ動作

笛吹橋ニ於テ

※前衛騎兵(一中隊)ハ行進ノタメ何レノ道路ヲ選定セラレシヤ

甲州街道ナリ

然リ軍隊ノ行進ト道路是レ離ルヘカラサル戰術問題ナリ而シテ軍隊ハ特別  
 ノ事情ナキ限リハ其進路ヲ首要ナル道路ニ取ルヲ常トス



※午前七時騎兵ノ先頭笛吹橋ニ到ル此時ニ於ケル騎兵ノ行軍位置ハ如何ナル狀

態ニアルテアラウカ

上圖ノ如シ

著眼點ハ

一 尖兵ノ兵力ハ如何

二 距離(尖兵ト主力ト)ハ如何

其一 兵力ハ一小隊ノ建制ヲ以テスルヲ可トス要務令ニ  
 獨立シテ行進スル一、二中隊ノ騎兵部隊ハ前衛杯ト謂フ  
 區分ヲ省略シテ稍強大ナル尖兵ヲ出スヲ可トスルコト  
 アリトアリ此原則ニ則トルヲ可トス夫ノ騎兵尖兵ハ長  
 及騎卒數人ヨリ成リ云々ハ主トシテ歩兵ノ前方ニ出ツ  
 ル騎兵尖兵ノコトヲ言ヒシモノナリ其系統ヲ區別的ニ

研究スルヲ要ス稍強大ナル云々ナルヲ以テ半小隊ニテモ可ナリ然レトモ建  
制ニ重キヲ置キ一小隊トスルヲ適當トセン

其二 距離ニハ一定ノ標準ナケレトモ考慮スヘキコトハ

行進上ニ就テハ連絡ヲ絶タサル限リ遠ク

本隊行進ノ圓滑ヲ妨ケサル限リ近ク

戰術上ニ就テハ遠キニ失スレハ孤立ニ陥リ

近キニ失スレハ動作ノ自由ヲ缺ク

以上ノコトヲ顧慮シテ定メサルヘカラス通常千米内外ナランカ

※尖兵笛吹橋ニ到ル此時敵騎二三宇田中西端ニ現ハレ其後方ニモ敵兵アルモノ  
ノ如シ尖兵長ノ處置如何

報告スルト同時ニ坪井道ニ轉進ス

此時ニ於ケル著眼點ハ

- 一 止テ視察スルヤ將タ進ンテ襲撃スヘキヤ否ヤ
- 二 坪井方面ニ轉進スルヤ否ヤ

ニアリ騎兵ハ搜索ノタメ自由ヲ得サルヘカラス笛吹橋畔ニ於テ搜索ノ目的  
ヲ達シ得ラルルナラハ幸ヒナレトモ如何セン該地附近ハ地形上其値ヲ有セ  
ス然レハ本道ヲ進ンテ衝突ヲ期スルヤ否ヤ是レ問題ナリ元來騎兵ハ搜索ノ  
タメ自由行動ヲナサンニハ先ツ敵ノ騎兵ヲ擊攘スルヲ最良策トス又如此覺  
悟ナカルヘカラス然レトモ今此原則ヲ實行センカタメ本道ヲ進ムトキハ其  
本道ナルモノハ所謂隘路ニシテ左右騎兵ノ運動ニ適セス去レハトテ本道ヨ  
リ四伍縦隊ノ襲撃ヲ決行スルモ敵ノ狙撃ノタメ其成功疑ハシ故ニ此際一般  
ノ地形ヲ判斷シ直ニ自由濶歩ノ地域ヲ有スル坪井道ヲ前進シ以テ一ハ狀況  
ニヨリ戰鬪ヲナスノ自由ヲ得一ハ側背ヨリ敵ヲ視察スルノ利ヲ得ントスル  
コトニ著眼スルヲ有利トスヘシ

(坪井東端ニ到リ)

※尖兵長坪井東端ニ到ル此時宇田中ニ敵騎四五金田西端ニ約七八騎ヲ見ル其後  
方不明ナリ尖兵長ノ處置如何

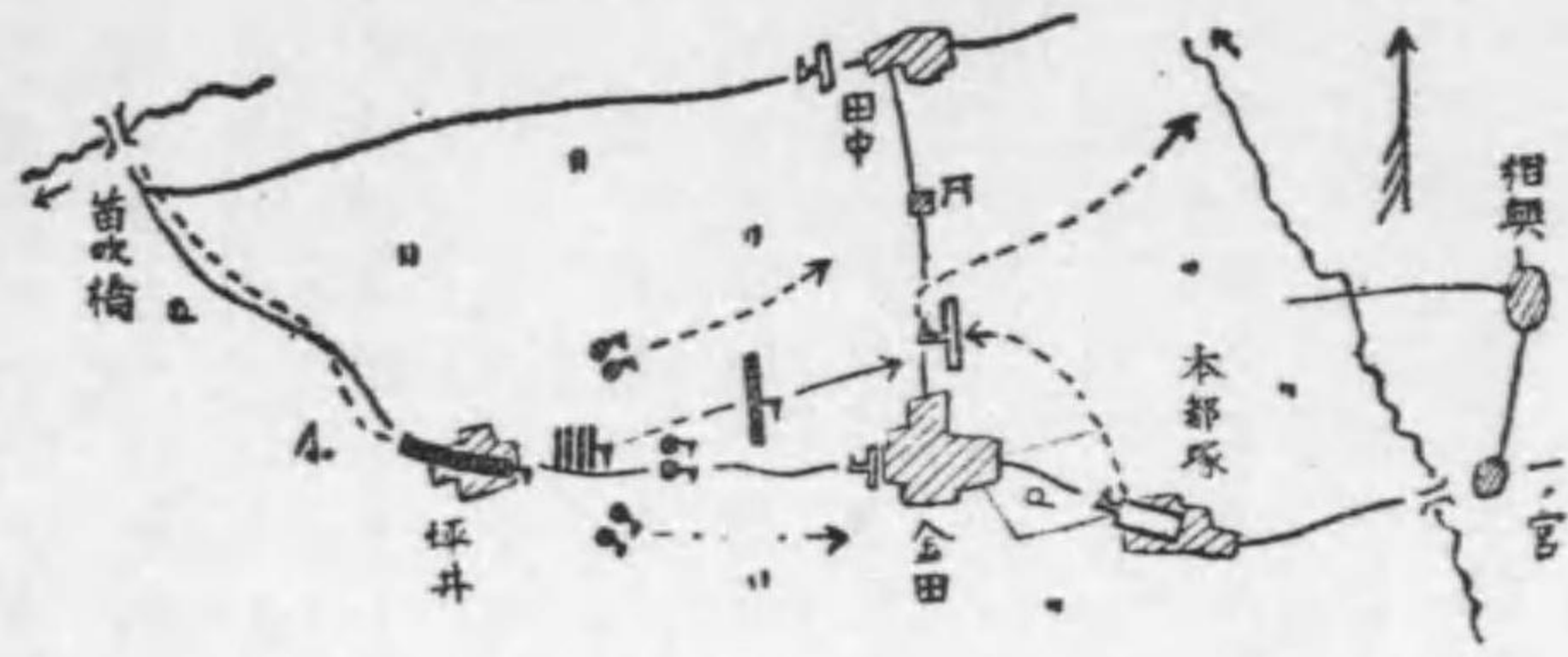
停止シテ視察ス

此際暴進スルハ不利ナリ是レ自ラ危地ニ陥レハナリ又左右ニ斥候ヲ出スモ  
咄嗟ノ間ニハ左程ノ效ナキモノナリ夫レヨリモ長自身ノ視察ニヨリテ敵情  
ヲ判斷シ以テ處置ヲ定ムルヲ要ス  
※騎兵中隊長此地ニ到ル此時敵騎約五六十金田ニ進入スルヲ見ル中隊長ノ決心  
如何

直ニ前面ノ敵ヲ襲撃セントス  
可ナリ今ヤ敵騎ノタメ本道並ニ坪井道ノ兩道ヲ遮キラレタリ今若シ之ヲ避  
ケントセハ最早敵情ノ搜索ハ得テ期スヘカラス騎兵ハ斯ク消極的ノモノニ  
アラス勿論無益ノ戰鬪ハ之ヲ避クルヲ必要トスト雖モ虎穴ニ入ラスンハ虎  
子ヲ得サルノ狀況ニ立到ラハ斷然積極的ノ行動ヲ敢テスヘキナリ騎兵ノ勝  
敗ハ迅速ナル決心果敢ナル動作カ其成功ヲ得ルノ道ニシテ決シテ兵力ノ多  
寡ニアラサルナリ

※其襲撃ノ方法ヲ述ヘヨ

先ツ坪井東端ニ於テ道路ヲ右翼ニシテ中隊縦隊ヲ作り前方ニ下士一、卒二ノ



地形搜兵、左右兩翼ニ戰鬪斥候ヲ出シ金田ニ向ヒ先ツ  
常歩ヲ以テ前進ス

敵情未タ明カナラス則チ敵カ金田ノ南ヨリ出ツルカ  
北ヨリスルカ不明ナルヲ以テ目下ハ運動自在ナル隊  
形即チ中隊縦隊ヲ取ルヲ適當トス

間モナクシテ敵騎七八十金田北側ニ展開中ナリ  
於是中隊長ハ直ニ横隊ニ開キ目標ヲ金田北端ト其北方  
無名祠トノ中間ニ取リテ速歩ニ移リ次テ駈歩—伸暢駈  
歩—襲歩ニ移リテ猛烈ニ突進ス

※此時地形搜兵戰鬪斥候ノ動作如何  
地形搜兵ハ襲撃ノ時機ニ至レハ適宜其襲撃ニ加ハル  
モ戰鬪斥候ハ襲撃ニ參加セス金田南側ニ出テ警戒ヲ  
繼續ス

(本都塚ニ到リ)



※我襲撃功ヲ奏シ敵騎ハ本都塚北方ニ退却セリ我中隊ハ之ヲ追撃シテ金田東北端ニ到ル此時相興村附近ニ敵歩兵約百我ニ向ヒ前進スルヲ見ル騎兵隊長ノ決心如何

A川ノ線ニ據リテ敵歩兵ヲ拒支シ以テ旅團ノ金田ノ臺上ニ進出スルヲ容易ナラシメントス

金田附近ハA川トB川トノ中間ニ於ケル隆起地ニシテ笛吹川石和方面ニ對シ制高ノ位置ヲ占メ彼我ノ争フヘキ地點ナリ故ニ前衛騎兵ハ旅團ノ來著マテ此位置ヲ固守スルヲ要ス

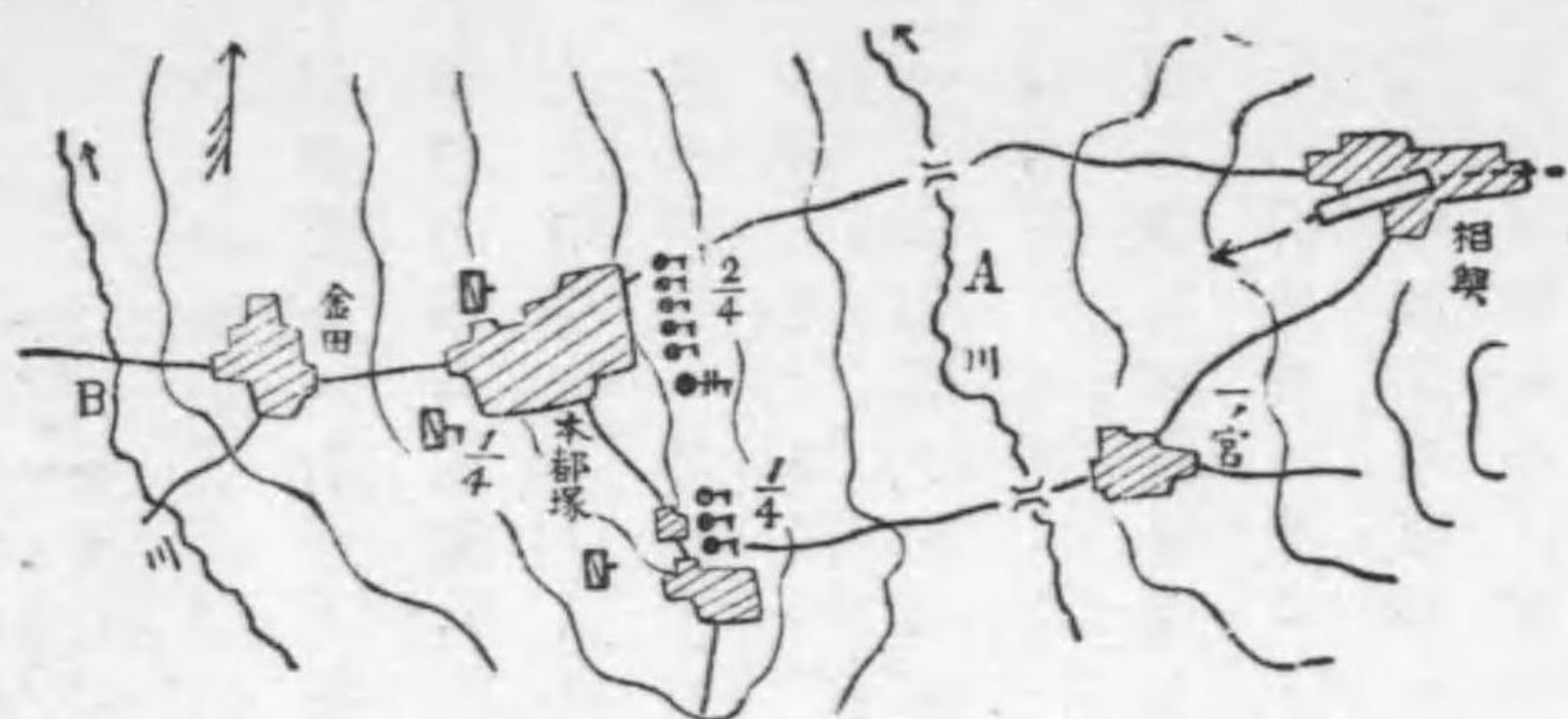
※以上ノ決心ニ基キ徒歩戰ヲナサントス其配備如何

左圖ノ如シ

此研究ニ關スル著眼點ハ

- 一 火線ヲ何レノ線ニ設ヘキヤ並ニ手馬ノ位置
- 二 乘馬豫備隊ヲ設クヘキヤ否ヤ

ニアリ此狀況ニ於ケル徒歩戰ノ目的ハ全ク持久ノ目的ナリ操典ノ精神ニヨ



レハ徒歩戰モ攻勢的意義ヲ有スルモノトシ持久ノ如キハ特別ノ場合トシアリ併シ持久ノ目的ヲ以テスル徒歩戰ニアリテ注意スヘキコトハ適時戰闘ヲ中止スルニアリ中止シテ蔭蔽行動スルニアリ之カタメニハ其火線ハ遠距離射撃ニ適ス我位置ヲ遮蔽シ我兵力ヲ暴露セス寧ロ誤認セシムル如ク占ムルヲ要ス故ニ家屋、村縁、生籬等ヲ部分的ニ占領シ手馬ハ直後ニ小隊毎ニ控置スヘシ散兵ハ歩兵ノ如ク整然タラストモ可ナリ又乘馬豫備隊ハ出來得ルナラハ此際設ケスシテ可成第一線ノ銃數ヲ多クスルノ必要アリト雖モ此附近ノ地形ハ兩翼共歩兵ノ運動容易唯前面ニ小斷崖ノ小流アルノミニテ戰闘間敵一部ノ迂回脅威ナキヲ保セス故ニ已ムナク消極的ノ目的ヲ以テ一小隊ノ乘馬豫備隊ヲ控置スルヲ可トス

第二 前衛ノ動作

※午前八時歩兵尖兵笛吹橋ニ到ル此時金田方向ニ方リ急劇ナル銃聲ヲ聞キ次テ前衛騎兵ヨリ前述ノ狀況ニ關スル通報ニ接ス尖兵長ノ處置如何

金田方向ニ前進ス

此際甲州街道ヲ田中方向ニ進ミ益々低地ニ入ルハ不利ナリ可成早ク騎兵ノ戰場ニ到著シ之ヲ支援スルコトニ努メサルヘカラス

※前兵長ノ處置如何

一小隊ヲ田中方向ニ前進セシメ主力ヲ以テ尖兵ニ續行ス

※午前八時十分歩兵尖兵本都塚ニ到ル此時前面ノ敵歩兵約二小隊ニシテ櫻村西北端ニ散開シ我騎兵ト對戰中ナリ尖兵長ノ處置如何

直ニ尖兵全部ヲ本都塚東端ニ散開ス

前兵モ亦次テ戰線ニ増加セラル

於是前衛騎兵ハ當面ノ戰鬪ヲ歩兵ニ讓リ主力ヲ以テ直ニ御代咲方面ヨリ石廩

村方向ニ前進シ敵情ノ搜索ニ從事スルナラン

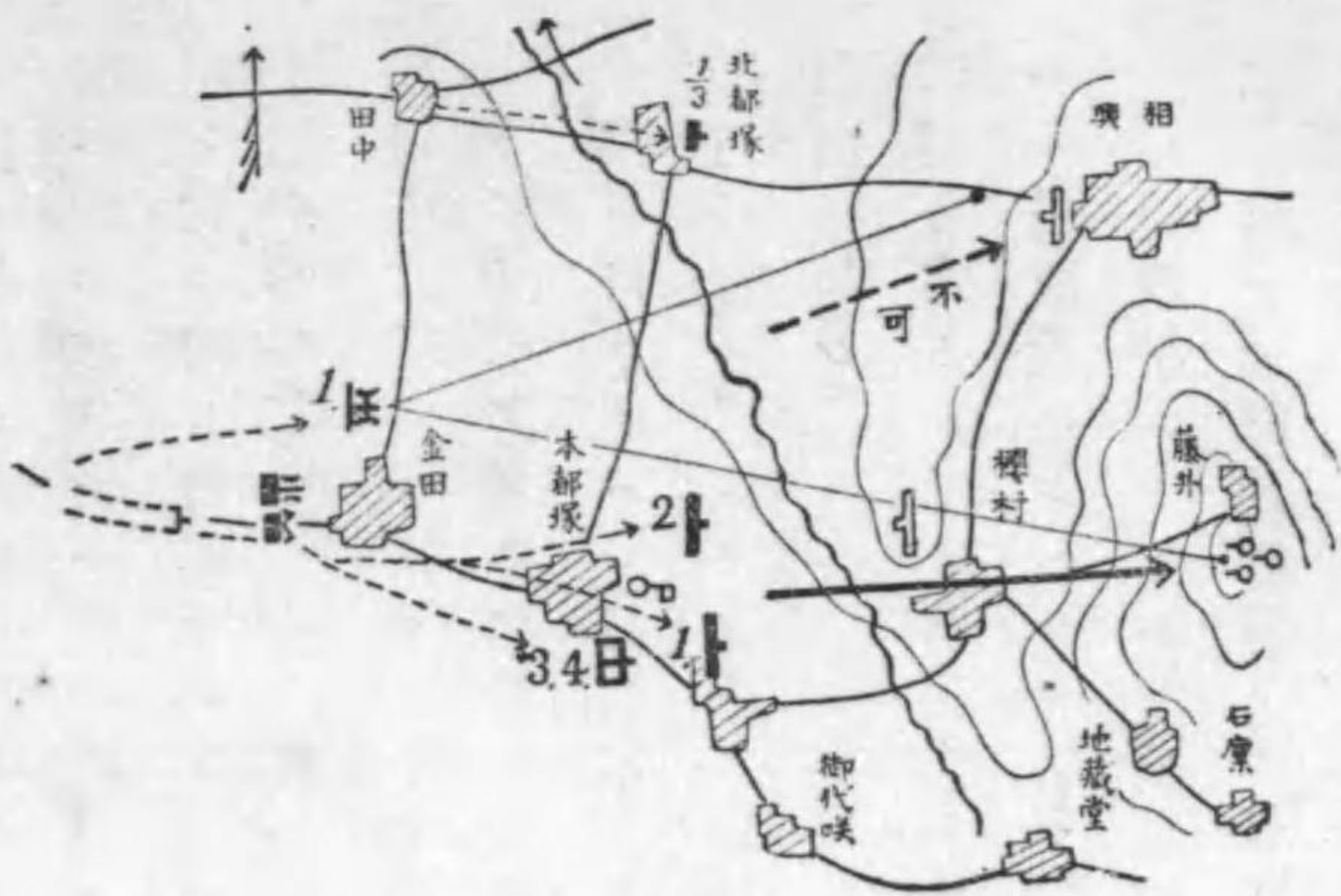
此時ニ於ケル敵情ハ櫻村附近ニ歩兵約二小隊相與村西端ニ更ニ歩兵一、二小隊出現シ我ニ向ヒ前進セントスルモノノ如ク尙ホ藤井村ノ臺上ニ歩兵斥候二、三ノ出沒スルヲ見ル

前衛司令官驛馬ニ鞭チ此地(本都塚東端)ニ到リテ前述ノ光景ヲ目撃ス此時左翼春日居方面ニ出シアル騎兵斥候ヨリ報告アリ曰ク午前八時十分頃敵ノ縱隊ノ先端隘路口ニ現ハレ逐次本道及岩崎道ニ分カレテ西進中ナリ

※前衛司令官ノ處置ヲ要圖ヲ以テ示セ前衛ノ兵力歩一大砲一中工二小、、、、左圖ノ如シ

※前衛司令官トシテノ著眼點ハ

- 一 獨斷攻撃スヘキヤ否ヤ
- 獨斷攻撃ストセハ其攻撃點ハ相與ノ敵カ將タ藤井ノ高地カ
- 二 何レノ線ニ幾何ノ兵力ヲ展開スヘキヤ
- 三 砲兵ヲ何レニ配置セントスルカ



等ナルヘシ

其一 前衛ハ獨斷攻撃ヲ決行スヘキテアル何ントナレハ藤井ノ高地ハ此附近ニ於ケル所謂要點ニシテ之ヲ得ルト否トハ相與平地ニ於ケル戰鬥ノ勝敗ニ關スルモノ大ナレハナリ故ニ前衛トシテハ最モ早ク此點ニ著眼シ戰鬥否ナ犧牲的トナリ此高地ノ奪略ヲ努メネハナラヌ若シ然ラスシテ本都塚附近ニ展開シ以テ旅團本隊ノ展開ヲ掩護セントスル美名ノ下ニ消極戰術ヲ取ルナラハ忽チニシテ戰敗ノ慘ヲ以テ罰セラルヘシ敵ハ如何ナル動作ヲ取ルヤニ一考ヲ與ヘヨ敵トシテ勝沼ノ隘路口ヨリ進出センニ

ハ必スヤ其前衛ナルモノハ犧牲的行動ヲ以テ所謂隘路進出ノタメノ掩護陣地ヲ占領スルナルヘシ其陣地トシテ先ツ藤井ノ高地ニ著眼セラルヘキハ是レ圖上並ニ現地ニ一瞥ヲ與フレハ直ニ明カナル所ナリトス而シテ今ヤ敵情ヨリ考フルモ我ニ於テ占領シ得ル公算アルヲ以テ之ヲ決行スルヲ要ス

若シ藤井高地ニ著眼セスシテ低凹地タル相與附近ニ出現セル敵歩兵ヲ攻撃スル策ニ出テンカ其攻撃スルト謂フ考ハ可ナレトモ其著眼不適當ニシテ從テ結果不良ニ陥ルニ至ルヘシ

決心及處置ノ適否ノ關係如此吾人ハ決心ノ適確ナルヲ要スルト共ニ亦處置ノ適切ナルヲ要スルヤ切ナリ

其二 展開ノ線ヲ金田ノ東北ニ選フカ本都塚東端ニ選フカハ主トシテ攻擊點ノ藤井ナルヤ相與ナルヤニ依リテ定マルト雖モ單ニ地形上ヨリ論スレハ金田方面ヲ有利トスルカ如シ然レトモ此展開ハ或一線ニ停止的ニ行フニアラスシテ行進シツツ行フ所謂逐次ノ展開法ナルヲ以テ本都塚東端方

面ヨリ展開ヲ指導スルヲ可トス  
 其三 砲兵陣地ハ金田北端ニスルカ本都塚東端ニスルカニアリ此際ハ完全  
 無缺ノ陣地ヨリモ迅速主義ニヨリテ選定スルヲ要ス之カタメニハ金田北  
 端ヲ可トス

※前衛ノ展開指導ノ要領ヲ述フヘシ

前衛司令官ハ砲兵工兵隊長ヲ隨ヘテ本都塚ニ到リタルナルヘシ於是前面ノ  
 狀況ヲ觀察判斷ノ結果獨力ヲ以テ藤井高地ヲ占領スルニ決シタナラハ先ツ  
 前兵中隊ニ櫻村ノ敵ニ向ヒ攻撃スヘク命シ同時ニ砲兵ニ意圖ヲ示シ金田北  
 端ヲ占領シテ直ニ射撃スヘキヲ命シ(工兵ヲ屬ス)而シテ副官ヲシテ第二中隊  
 ニ直ニ前兵中隊ノ左ニ連ナリ櫻村ノ敵ヲ攻撃スヘク命セシメ且第三、第四  
 中隊ハ本道ヲ本都塚東端ニ急進スヘキヲ命シ而シテ之ヲ最初ハ豫備隊トナ  
 シ爾後狀況ノ變化ニ應シ使用スル考ヲ以テスルヲ可トス  
 前衛ハ猛烈ニ攻撃前進ヲ起セリ之ト同時ニ右縦隊モ殆ント同線ニアリテ藤井  
 高地ノ敵ニ向ヒ前進セリ此時敵ノ歩兵約二、三中隊藤井高地ニアリ於是高地中

腹ノ戰鬪漸ク激烈トナル

### 第三 本隊ノ展開

※午前八時稍前旅團長ハ酒折高地ニ於テ大要敵情ヲ視察シ相與附近ニ於テ遭遇  
 スヘキコトヲ知ル此時ニ方リ旅團長トシテ考フヘキコトハ

- 一 本隊ハ依然前衛ノ進路ヲ進ムヘキヤ
- 二 然ラスシテ石和ヨリ英村ニ分進スヘキヤ  
 ニアリ

是レ遭遇戰ニ於テ通常起ルヘキ問題ナリ之ハ亦道路網ノ關係上一見此ノ如  
 ク思惟セラルルヲ當然トス然レトモ分進ノ必要ハ則チ展開ノ迅速ヲ圖ルニ  
 アリ此著眼ハ既ニ業ニ縦隊分進ニヨリテ其目的ヲ達シ得ヘシ右縦隊ハ御代  
 咲方面ニ進出スヘク前衛ハ國立村ニ進ミタルヘケレハ其方面最早展開ノ餘  
 地モナキ状態ニアルヘシ故ニ此際ハ唯前衛ニ續行シ笛吹橋ヲ渡リタル後爾  
 後ノ展開ヲ決定スヘク縦隊ノ距離長徑ヲ短縮シツツ前進スルヲ適當トス午

前八時三十分頃旅團長ハ前衛本隊ノ先頭ニアリテ本都塚ニ到ル此時ニ於ケル敵情前述ノ如シ

※旅團長ノ處置如何

- 一 前衛右縱隊ヲシテ藤井ノ高地ヲ占領セシム
- 二 本隊ノ先頭ニアル第二大隊ヲシテ國立村下矢作間ニ展開シ相興ノ敵ヲ攻撃セシム

- 三 砲兵大隊長ニ命シ金田附近ニ陣地ヲ占領セシム

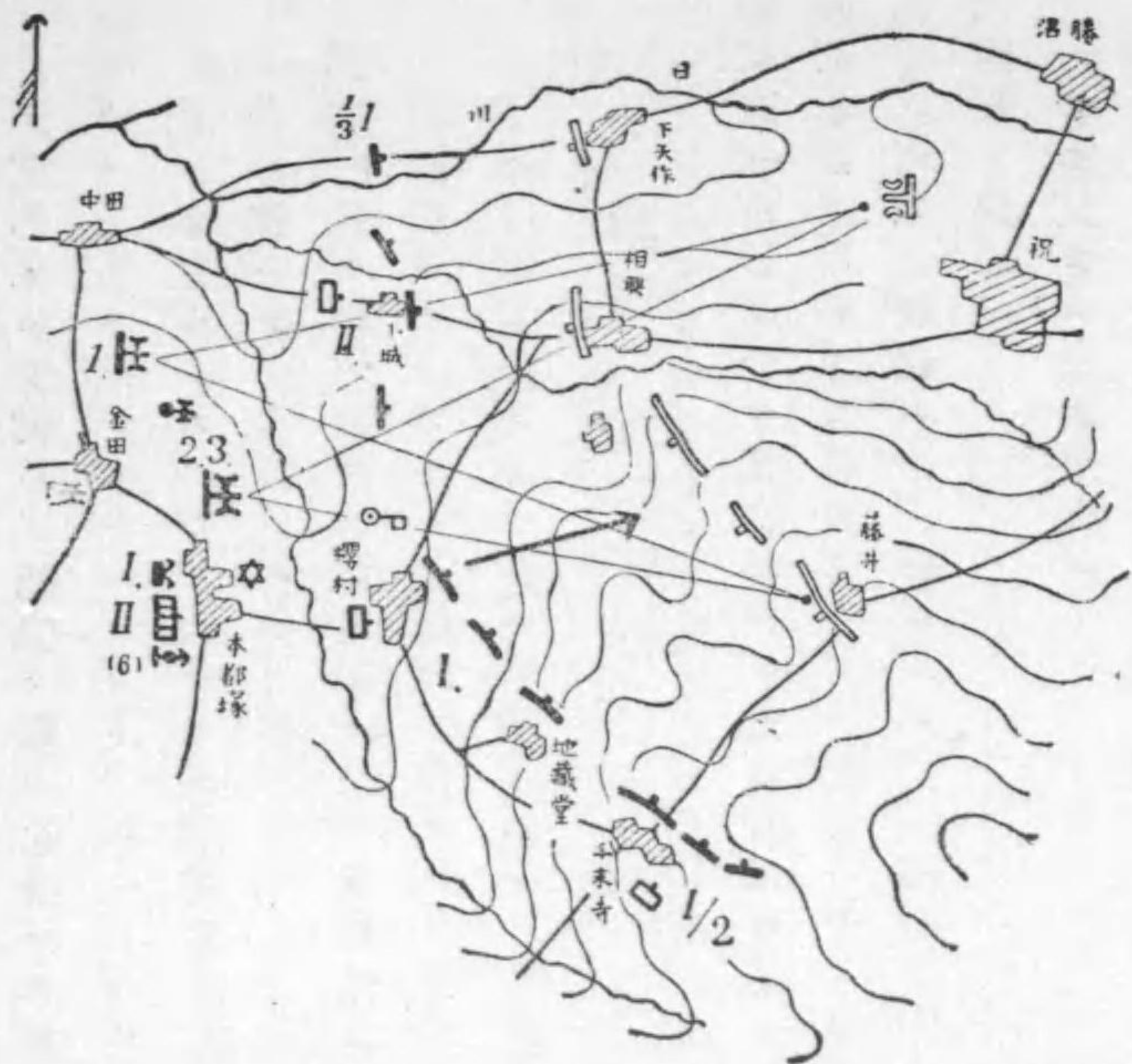
- 四 殘餘ハ豫備隊トナリ金田ニ向ヒ前進セシム

既ニシテ戰況發展シ敵モ漸次其兵力ヲ增加シ其兵力藤井高地上ニ約一大隊半、相興村附近ニ約一大隊展開シ我第一線ハ今ヤ石廩村ヨリ櫻村東端ヲ經テ字小城北端ニ亘リ戰闘中ナリ

※此時ニ於ケル旅團展開ノ狀態如何

左圖ノ如シ

此配備ニ於ケル著眼點ハ



- 一 砲兵陣地
- 二 攻撃點

ナリ

其一 砲兵陣地ニ就テハ元來遭遇戰ニ於テ前衛砲兵ト本隊砲兵トカ其狀況ノ變移上其陣地ヲ異ニスル場合多キモノトス換言スレハ前衛砲兵ハ迅速主義ノ下ニ通常敵ノ展開ヲ妨クル目的ヲ以テ占領スルモ本隊砲兵ハ攻撃前進ヲ容易ナラシムルヲ主ナル目的トス則チ突撃スルマ

テ其陣地ヨリ射撃ノ威力ヲ逞フシ得ルヲ主トスルニアリ故ニ前衛砲兵ヨリモ前方ニ選定セララルコトアルヘシ此時ニ方リ前衛砲兵ヲ本隊砲兵ノ線ニ前進セシムヘキヤ否ヤハ其射撃任務其他一般ノ景況ニ關ス但シ大隊長ハ統一シテ指揮スヘシ

其二 攻撃點ハ藤井ノ高地トス是レ其地點カ必要ナレハナリ之カタメ包圍的行動ヲナサントシテ時間ヲ費ヤスヲ許サス彼我刻一刻ヲ爭フヲ以テ正面ヨリ猛烈ニ攻撃スルヲ得策トス

#### 第四 攻撃實行

戰況漸次進捗シ今ヤ彼我相距ル三、四百米ニ達セリ而シテ藤井高地ノ敵ハ頑強ニ其位置ヲ固守シ又相與村方面ノ敵兵ハ大ニ其兵力ヲ増加シ當方面ノ我大隊頗フル苦戰ノ狀態ニ陥リ動モスレハ突破セラレントス如何

※大隊長ノ決心

一步モ退カス奮戰勇闘ス

然リ退クヘカラス而シテ決シテ増援隊ノ請求ヲナスヘカラス武士ノ本領ハ苦境ニアリテ益々其光彩ヲ發揮スヘシ苦境難局寧ロ其欲スル所ナレ戰況ハ如何ニ増援ヲ請フヘキ至當ノ理由アルニセヨ我ノ苦戰ニアルトキハ友軍モ等シク難境ニアルヘキハ自然ノ狀態ニアルヘケレハ到底増援ナルモノハ得テ望ムヘカラス元來増援ナルモノハ自的ニアラスシテ他のモノナリ換言スレハ下級者ヨリ請フモノニアラスシテ上級者ヨリ遣ハサルモノナリ心理上ヨリ論スルモ増援ヲ請フ心理的動機ハ中心ニ倚賴心ノアリテ存スルモノナリ人ニシテ他賴心アリ到底活潑々地ノ事業ヲナシ得サルモノナリ他賴心ハ勇猛自發心ノ缺陷ヲ證スルモノニシテ動作從テ緩慢優柔ナルニ至ル吾人ハ徹頭徹尾斃レテ而後已ム死ストモ退カステフ精神ヲ養成スルヲ必要トス、倚賴心ヲ賴ミトスル人程憐レナルモノハナク他賴心程己レヲ賊スルモノハアラス殊ニ戰ヲ宰スルモノニ於テ然リトス

最右翼大隊ハ包圍的ニ藤井ノ高點ニ向テ突撃ヲ決行セルモ大損害ヲ受ケ敵前約五十米ノ地隙附近ニ於テ突撃頓挫シ頗フル慘怛タル運命ニ沈淪セリ

※大隊長ノ決心如何

地隙ニ據リ更ニ勢力ヲ整ヘ重ネテ突撃ヲ決行セントス  
然リ反覆再三突撃ニ次クニ肉撃ヲ以テスヘシ是レ我邦戰法ノ真髓ナリ吾人  
ハ一回ノ突撃ニテ成功スルカ如キ天佑的成功ノ餘リニ樂天的ナルヲ期待ス  
ルモノニアラス銃ハ折レ彈ハ盡キ然ル後肉彈ニ肉彈ヲ以テシテ敵手ヲ服セ  
シメサルヘカラス若シ就ラスンハ七生突撃ヲ反覆シテ敵壘ヲ奪ハスンハ止  
マサルノ概ナカルヘカラス吾人ノ同胞ハ短兵急電最初ノ一撃ハ猛且敏ナレ  
トモ若シモ一頓一挫ノ運命ニ際會セハ始メノ勇氣ハ雲散スルノ弊ナキ能ハ  
ス始メモ脱兎終リモ脱兎猛虎ノ如クナラサルヘカラス平素如此性格ノ馴致  
ヲ必要トス

最右翼大隊ノ勇敢壯烈ナル突撃ハ中途ニシテ頓挫シ最左翼大隊ノ攻撃モ今ヤ  
優勢ナル敵ノ壓迫ニヨリ頗フル難境ノ運命ニ陥レリ

※旅團長目ノアタリ之ヲ視ル決心如何

豫備隊ヲ以テ中央大隊ニ増加シ最後ノ突撃ヲ藤井村ノ一角ニ向テ決行セン

トス

軍ニ長タルモノハ動中ノ靜ヲ得サルヘカラス軍ニ將タルモノハ靜中ノ動ヲ  
得サルヘカラス熱情ナカルヘカラス而シテ冷情ナカルヘカラス今ヤ目前ニ  
悲壯ナル突撃ノ大失敗ヲ目睹シ之ヲ救フノ念ノ勃生スル是レ人情ノ然ラシ  
ムル所ナリ旅團長ハ此人情ノ慾求ニ從ヒテ之ヲ救フハ夫レ至當ノ處置ナル  
ヘキカ情ニ於テハ救フヘシ然レトモ戰理ニ於テハ救フヘカラス旅團長ハ宜  
シク全般ノ狀況ニ鑑ミテ冷靜沈黙慎重タルヘキノミ  
左翼大隊ハ今ヤ將サニ優勢ノ敵ノタメニ粉塵セラレンス刹那ニアリ之ヲ見  
ルモノ敢然トシテ其難ニ赴クハ之レ人情ノ然ラシムル所ナリ然レトモ旅團  
長ハ這小事此小局ノ折衝ノタメニ大局ヲ誤マルカ如キ熱性指揮官タルヲ是  
認スヘキヤ否ヤ宜シク大觀シテ冷然自若己レノ決スル所ニ向テ猛然敢行ス  
ルアルノミ由來大軍ヲ指揮スルハ易シ唯如此慘怛タル刹那ニ於テ情感ノ破  
レントスル極點ニ於テ大磐石ノ如キ決意ト鐵ノ如キ火ノ如キ情トヲ能ク融  
合調和シテ其大局ノ措置ヲ誤ラサルハ難シトスル所ナリ將帥ノ性格ヲ養フ

四二六  
ニ智アリ徳アリ情アリ意アリ而シテ其情ニ於テハ特ニ抑制的訓練ノ必要大ナルヘキヲ感ス古來英雄ニシテ此情ノタメ事ヲ誤テルモノ蓋シ鮮シトセス反省セサル可ヘケンヤ

現 地 戰 術 上 卷 終



319  
340

319-340

7



終